

令和4年度 事業報告及び事業報告附属明細書

自 令和4年4月 1日

至 令和5年3月31日

社会福祉法人志木市社会福祉協議会

目 次

令和4年度事業報告	-----	1
事業報告附属明細書	-----	3
1 法人運営	-----	3
2 地域福祉	-----	6
3 法人後見事業	-----	10
4 基幹福祉相談センター	-----	12
5 居宅介護支援事業	-----	14
6 相談支援事業	-----	16
7 訪問介護事業	-----	18
8 地域包括支援センター	-----	20
9 志木市総合福祉センター	-----	24
10 宗岡第二公民館	-----	26
11 志木市福祉センター	-----	28
12 志木市第二福祉センター	-----	30
13 障がい者通所施設（生活介護）	-----	32
14 障がい者通所施設（就労継続支援B型）	-----	34
15 地域活動支援センター	-----	36
16 志木市児童センター	-----	38
17 宗岡子育て支援センター	-----	40
18 放課後子ども教室・学童保育クラブ	-----	42

令和4年度 事業報告

1 総括

近年、少子高齢化や人口減少といった社会環境は大きく変化し、社会的孤立、生活困窮、児童・高齢者の虐待、子どもの貧困等、福祉や生活への課題は多様化・複雑化しています。さらに、長期にわたる新型コロナウイルス感染拡大の影響や物価高騰など市民を取り巻く生活環境が一層厳しさを増す中で社会福祉協議会には、時代の変化に合わせた地域づくりの中核的役割を担うことが期待されています。

このような中、今年度の事業運営にあたっては、コロナ禍の厳しい状況や社会の変化に適切に対応し、第5次志木市地域福祉活動計画の「みんながつながり、安心して自分らしく暮らせるまちの実現」の理念のもと多様な福祉活動を展開してまいりました。

令和4年4月から新たに「志木市基幹福祉相談センター」の業務を受託し、長年培ってきた生活困窮者や障がい者への相談支援や権利擁護事業のノウハウを生かし、地域福祉の推進を担う中核的な機関として業務に取り組むとともに生活困窮者への相談支援やフードバンク事業等、既存事業とも密接に連携しながら効果的な事業運営に努めてまいりました。

さらに、コロナ禍において希薄になってしまった「つながり」の再構築を目指して、ボランティア活動や地域福祉活動を推進するとともに、各事業所においては、新型コロナウイルス感染症が終息した後の新しい地域社会の構築を見据えながら、福祉サービスの適切な提供に努め「地域共生社会」の実現に向けた様々な取り組みを展開しました。

2 重点的な取り組みについて

(1) 地域福祉活動の推進

小地域を基盤とした福祉活動を支援し、福祉コミュニティの形成を促進しました。また、誰もが気軽に地域活動に参加できるきっかけづくり、居場所づくりのため、地域活動の体験会や活発に活動している団体の紹介を行うとともに体験会の様子を SNS にて動画配信して地域活動の普及・啓発に努めました。

(2) 生活困窮世帯等への支援の充実

新型コロナウイルス感染症の影響や物価高騰により、生活が困窮し不安を抱えた市民に対し、生活福祉資金貸付の窓口を設け相談支援を行いました。また、貸付事業の利用者やひとり親家庭に地元食材、市内事業者を活用した食支援を行い、さらにフードバンク事業を実施して食品等を提供するとともに市内で実施されている支援活動の情報提供を行いました。

(3) 総合相談支援の充実

新たに「志木市基幹福祉相談センター」を受託し、障がい者、高齢者、子ども及び生活困窮者の自立支援など、各制度・分野にわたる複合的な生活課題に対応するため専門的な相談支援を行いました。

(4) 高齢者・障がい者支援の促進

居宅介護支援事業所、相談支援事業所、訪問介護事業所、地域包括支援センターでは、感染症対策を講じてサービスを提供するとともに、コロナ禍により活動の制限や自粛から生じている身体・認知機能の低下を防ぐための支援を行いました。また、複数の課題を抱えている人等が多くなってきていることから、多職種でのケア会議の開催や、関係機関との連携を強化し、その人らしい生活の維持・向上につなげる支援を行いました。

(5) 地域福祉拠点の利用促進

総合福祉センター、宗岡第二公民館では、感染状況に応じて利用条件を変更するなど、コロナ禍でも安心して利用できる施設運営を努めてまいりました。

福祉センター、第二福祉センターでは、高齢者の身体機能の維持向上及び孤立防止を図るため、利用者の活動の場を増やしました。

とくに3月には、総合福祉センター利用団体・社協の事業所で実行委員会を組織し、新型コロナウイルス感染が流行した以降、初めてとなる総合福祉センターまつりを開催することができました。

(6) 障がい者支援体制の整備

障がい者通所施設では、中止していた販売活動を再開するとともに、市役所新庁舎のトイレ清掃を新たに受託するなど、請負業務を充実させ、利用者の訓練・就労機会を拡大し、利用者の平均工賃を増額することができました。また、地域活動支援センターでは、機能回復訓練の指導をいただく理学療法士、作業療法士の充実を図るなど、受け入れ体制の強化を行いました。

(7) 子ども支援の充実

児童センター、宗岡子育て支援センターでは、感染症対策を講じながらコロナ禍における児童や保護者のニーズを的確に捉え事業を実施しました。自宅でも参加ができるオンライン広場を定期的の実施したほか、地域の親子が集い楽しめる事業や「かがくあそび」「クッキング」等児童が様々な体験ができる事業を再開いたしました。

放課後子ども教室・学童保育クラブでは、地域で活動する方々に講師となっただき、体験プログラムやオンライン交流会を実施しました。また、新庁舎等完成記念イベントに参加するなど地域住民と交流を図り、参加児童にとって貴重な体験を得ることができました。

1 法人運営

(地域福祉課)

1 事業の概要

社会福祉法人志木市社会福祉協議会の事業全体の管理及び総合的・計画的な事業執行を行うための組織管理を行う部門として、各課間との連絡・調整を図り、適正な法人運営を推進した。

2 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	42,542,000	職員人件費
事業費支出	1,636,667	広報事業、表彰事業等
事務費支出	4,085,799	事務管理費
基金積立資産支出	7,000	横山武治高齢者福祉基金利息積立
積立資産支出	5,227	運営調整積立金利息積立
繰入金支出	4,969,000	相談支援事業所等
支出合計	53,245,693	

3 重点施策への取り組み

令和6年度から人事評価制度を実施するため、検討会議を開催し、人事評価要綱を制定した。あわせて、令和5年度から人事評価制度を試行的に実施するため、評価者研修を1回、被評価者研修を3回開催し、全常勤職員の知識及び意欲の向上を図った。

4 主要な施策の成果

(1) 法人運営・役員活動

① 会議など

ア. 理事会 5回

回数	月日	出席者または 合意/定数 上段 理事 下段 監事	議案番号	主な内容
第1回	5月30日	9/11人 2/2人	第10号 第11号 第12号 第13号 第14号	評議員選任候補者の推薦について 理事候補者について 令和3年度決算及び事業報告書の承認について 令和4年度定時評議員会について 令和4年度評議員選任・解任委員会について
第2回	6月27日	11/12人 2/2人	第15号	常務理事の選定について
第3回	12月9日	9/11人 1/2人	第16号 第17号	評議員選任・解任委員会運営規程の一部を改正する規程について 評議員選任候補者の推薦について

			第18号 理事候補者について 第19号 第2回評議員会について 第20号 第2回評議員選任・解任委員会について
第4回	12月28日 決議省略	12/12人 2/2人	副会長の選定について
第5回	3月10日	10/12人 1/2人	第1号 役員等賠償責任保険の更新について 第2号 令和5年度予算及び事業計画について 第3号 評議員選任・解任委員の選任について 第4号 第3回評議員会について

イ. 評議員会 3回

回数	月日	出席者または 合意/定数	議案番号	主な内容
第1回	6月27日	15/17人	第3号	令和3年度決算及び事業報告書の承認について
			第4号～第5号	理事の選任について
第2回	12月23日 決議省略	17/17人		理事の選任について
第3回	3月28日	16/17人	第1号	令和5年度予算及び事業計画について

ウ. 監事会 1回

② 団体との渉外活動

- ア. 総会 8回 (書面)
- イ. 新年会、記念式典等 6回
- ウ. 寄附 2回
- エ. 後援(協力)活動 4件

③ 寄附金の受け入れ 19件 358,740円

(2) 事務局活動

常勤職員8人分の人件費及び事務所の維持管理費など、必要な費用を支出した。

- ① 課長会議 (全体会議) 12回
- ② 人事評価検討会議 8回
- ③ 衛生委員会 12回
- ④ 代表委員会 2回 (書面)

(3) 相談援助実習 (社会福祉士)

2大学 計2人 延べ19日

(4) 組織強化活動

① 会員募集及び募金募集

- ア. 地区委員会 1回
- イ. 町内会加入実績 5,481,000円 (うち特別会費 131,000円)
- ウ. 事務局加入実績 990,000円 (うち特別会費 883,500円)
- 計 6,471,000円 (うち特別会費 1,014,500円)

エ. 赤い羽根募金実績 3,487,365 円

オ. 地域歳末たすけあい募金実績 2,303,233 円

② 福祉功労者表彰 1人、3団体

埼玉県社会福祉大会会長表彰 1人

埼玉県社会福祉大会知事表彰 1人

③ 職員研修

新任研修 1回 10人

評価者研修 1回 11人

被評価者研修 3回 52人

(5) 広報活動

① 社協だよりの発行

年4回 各26,200部(全戸配布)

② ホームページ・SNSの運営(令和5年3月31日現在)

ア. Twitter フォロワー数 401人

イ. Facebook フォロワー数 382人

ウ. Instagram フォロワー数 172人

(6) 福祉サービス適正運営

① 第三者委員会 1回(書面報告)

② 苦情受付件数 11件(第三者委員による対応なし)

③ 事故発生件数 44件

2 地域福祉

(地域福祉課)

1 事業の概要

小地域を基盤とした福祉活動を支援することにより、福祉コミュニティの形成を図った。また、地域住民の福祉・障がいへの理解を進めるとともにボランティア活動への関心を高め、ボランティアの育成、支援を行った。さらに、公的制度を重層的に補完できるよう各事業の見直しを行い、地域で支える在宅福祉サービスを展開した。

2 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	11,793,454	職員人件費
事業費支出	3,568,432	地域福祉・ボランティア・在宅福祉
事務費支出	8,238,967	事務管理費
助成金支出	7,857,812	助成事業・共募配分事業
固定資産取得支出	665,500	パソコン、ラテラルキャビネット
支出合計	32,124,165	

3 重点施策への取り組み

生活支援体制整備業務においては、地域活動に参加できるきっかけづくり及び居場所づくりを進めるため、地域活動を活発に行っている4団体の活動紹介及び体験会を実施し、あわせて、体験会の様子を短時間の映像として編集し、SNSを活用した普及啓発を行った。

食支援事業においては、生活福祉資金貸付事業等を利用する242世帯やひとり親家庭190世帯に対し、地元食材、市内事業者を活用した食糧の支援を行い、あわせて、市内でフードバンク活動を行う団体の紹介や就労支援等の情報提供を行った。

4 主要な施策の成果

(1) 地域福祉活動

① 地域福祉活動計画の推進

地域福祉推進委員会 1回

② 生活支援体制整備業務（市受託事業）

ア. 第1層協議体の実施 18回

イ. コーディネーター会議の開催 2回

ウ. 第7回生活支援体制整備事業連絡会 96人参加

エ. 三芳町・志木市生活支援体制整備交流会 28人参加

オ. 「大人のビタミンクラブ」活動体験会～宗岡地区編～ 36人参加

カ. 生活支援体制整備事業勉強会 40人参加

キ. 第2層協議体への参加 23回

ク. 地域ケア会議への参加 9回

ケ. 食の場づくり担い手育成・食育推進事業運営推進会議への参加 6回

コ. ふれあいサロン代替案検討会議 3回

③ ふれあい健康交流会（市受託事業）

ア. 利用者登録数 105人

イ. ボランティア団体数 5団体

④ 家族介護者交流事業（市受託事業）

月日	参加者	内容
7月20日	介護者10人、協力者等7人	講演会「負担を軽くする介護のコツ」
11月12日	介護者10人、協力者1人	日帰りバス旅行 「オーケストラ鑑賞でリフレッシュ」
3月10日	介護者10人、協力者1人	講座・交流「腰痛を予防しよう」

⑤ 詐欺被害防止電話機等購入費補助 36件 353,200円

⑥ 支え合い・助け合い活動支援事業

ア. 活動相談 34か所

イ. 活動支援 34か所

支援内容	件数(件)	金額(円)
事務費の支給	34	170,000
保険の加入	32	536,614
会場費の支給	22	667,263
広報物の支給	1	—
備品の貸出	11	—
イベント開催費の支給	4	57,711
備品購入費	4	33,534

⑦ 生活困窮者自立支援金（市受託事業） 新規46件、再支給43件

⑧ フードバンク事業 延べ428人

⑨ 食支援事業（市受託事業） 242世帯

(2) ボランティア・市民活動センターの運営

① ボランティアに関する相談・調整・情報提供

団体2件、個人41件

② ボランティア活動団体助成申請支援

種別	事業数(件)	延べ団体数(団体)
助成情報案内	15	114
申請支援	3	5
助成決定数	3	5

③ ボランティア関連保険

ア. ボランティア活動保険 1,641人

イ. ボランティア行事用保険 249件

④ ボランティア体験プログラムー福祉学園ー

全48コース 延べ150人参加

⑤ ボランティア育成

- ア. 手話奉仕員養成講習会入門課程（市受託事業） 30人参加
- イ. 手話奉仕員養成講習会基礎課程（市受託事業） 8人参加
- ウ. 音訳ボランティア養成講座 17人参加
- エ. 傾聴ボランティア養成講座 15人参加
- オ. 子ども食堂担い手講座 11人参加

⑥ 学校における福祉教育

- ア. 福祉体験実績
 - 小学校 7校 42件
 - 中学校 2校 5件
- イ. 朝霞地区四市福祉教育研修会 延べ91人参加

⑦ 地域福祉教育

- ア. 聞こえない人の気持ちを考える講座 10人参加
- イ. スマートウォーカー育成講座（市主催）「地域活動の楽しみ方」 17人参加

(3) 在宅福祉事業

① たんぽぽ生活応援隊

- ア. 年間活動時間 939時間10分
- イ. 年間活動回数 850回
- ウ. 利用者 213人
- エ. 協力員登録者 38人

② 福祉機材（車椅子、ポータブルトイレなど）の貸出 延べ178件

③ 福祉車両利用料補助 延べ11件 64,600円

(4) 福祉サービス利用援助事業

① 実施体制

専門員4人（常勤兼務3人、短時間勤務職員1人）、生活支援員8人

② 相談

相談日・時間	件数(件)
月～金曜日 8時30分～17時15分	622

③ 利用状況

ア. 契約件数 18件（新規4件、契約終了3件）

イ. 分野別契約件数 (件)

高齢者	知的障がい	精神障がい
12	2	4

(5) 生活福祉資金貸付事業

① 生活福祉資金本則貸付 (件)

新規	償還完了・償還免除	償還・据置中
8	6	114

② 生活福祉資金特例貸付 延べ191件

緊急小口資金 (件)	総合支援資金 (件)
96	95

(6) 共同募金配分事業

① 地域福祉活動助成事業

助成事業名		地区数・件数	助成額 (円)
地域のつながりづくり支援			
	地区敬老会支援	12地区	399,500
	世代間交流支援	13地区	338,300
	福祉施設訪問支援	—	—
	在宅高齢者訪問支援	4団体	70,200
地域活動支援		39地区	1,625,300
生活を支える活動支援			
	生活サポート活動支援	14団体	370,000
	社会参加支援	7団体	241,200
	障がい者交流支援	1団体	10,000
戦没者遺族会活動支援		1団体	150,000
ボランティア活動保険補助		918人	183,600
合計			3,388,100

② 介護用品購入支援事業

ア. 利用者 354人

イ. 介護用品及び購入支援数

介護用品	購入支援数
プラスチック手袋	221組
防水シート	159枚
手指消毒剤	106個
食事用エプロン2枚組	55組
浴槽すべり止めマット	55枚
ポータブルトイレ消臭錠	33個

③ 地域でつながる子育て応援事業 (カパルリユック・子育て応援本の配布)

受付場所	申請件数 (件)
いろは子育て支援センター「にこまある」	36
西原子育て支援センター「まんまある」	61
宗岡子育て支援センター「ぼけっと」	66
子育て支援センター「ぷちまある」	29
子育て支援センター「めばえ」	19
合計	211

④ 生活困窮世帯支援事業 (ひとり親世帯を対象として、お米やお菓子などを提供)

申請者 (世帯) 数 190世帯

3 法人後見事業

(地域福祉課)

1 事業の概要

判断能力が十分でない高齢者、知的・精神障がい者などが安心して生活できるよう、法人として成年後見人などを受任した。

2 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	859,331	職員人件費
事業費支出	254,056	諸謝金、通信運搬費等
事務費支出	725,630	事務管理費
支出合計	1,839,017	

3 重点施策への取り組み

権利擁護が必要な人に志木市基幹福祉相談センターや地域包括支援センター、生活保護ケースワーカーなどと連携を図りながら、制度の利用について情報発信を行った。

4 主要な施策の成果

(1) 権利擁護推進事業運営委員会 0回 (新規案件がなかったため開催を見送り)

(2) 権利擁護支援員会議 1回 12人出席

(3) 利用状況

① 保佐人 5件

新規受任	受任終了	受任件数	内訳
—	1件	5件	90代女性1人、70代男性1人、70代女性1人、60代男性1人、50代女性1人

② 後見人 13件

新規受任	受任終了	受任件数	内訳
—	—	13件	90代女性1人、80代女性2人、70代女性1人、50代男性3人、50代女性1人、40代男性2人、40代女性2人、30代男性1人

③ 後見監督人 2件

新規受任	受任終了	受任件数
—	—	2件

④ 相談・対応件数 1,507件

事務(身上保護・財産管理)	1,166件
職員訪問	238件
権利擁護支援員訪問	103件

(4) 会議・研修

- ① 専門員会議・研修 4回
- ② 志木市成年後見制度利用促進調整会議 7回
- ③ 志木市後見ネットワークセンター企画運営会議 6回
- ④ その他会議・研修 2件

4 基幹福祉相談センター

(地域福祉課)

1 事業の概要

基幹福祉相談センター（生活相談センター、後見ネットワークセンター、障がい者基幹相談支援センター）業務を令和4年度から新規受託し、障がい者、高齢者、子ども及び生活困窮者の自立支援など各制度・分野にわたる複合的な生活課題に対応するため関係支援機関等と連携を図り、専門的な相談支援を行った。

2 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	40,242,714	職員人件費
事業費支出	956,438	諸謝金、印刷製本費等
事務費支出	8,144,059	事務管理費
繰入金支出	3,313,789	法人運営へ
支出合計	52,657,000	

3 重点施策への取り組み

生活相談センターでは、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金、住居確保給付金、家計相談支援及び就労支援をワンストップで対応した。また、安定した居所と就労の確保に向けて、派遣会社の新規開拓を行った。

後見ネットワークセンターでは、権利擁護が必要な人に法律専門職や福祉事業者等と連携しながら、制度の利用方法について相談対応や情報発信を行った。また、後見人等の申立支援を行う中で、単独受任の市民後見人1人が選任され、3人の市民後見人に対し、活動支援を行った。

障がい者基幹相談支援センターでは、住民や福祉事業者、行政等と連携しながら、障がい者が安心して暮らせるための包括的な相談支援体制の構築に向けた取り組みを行った。また、福祉事業者同士が情報交換を行う連絡会の発足や、自立支援協議会に基づくプロジェクト活動にも積極的に参加した。

4 主要な施策の成果

(1) 相談窓口 5,518件（新規相談616件）

分類	件数 (件)
生活相談センター	4,025
後見ネットワークセンター	269
障がい者基幹相談支援センター	1,165
その他	59

(件)

来所	電話	メール	訪問	会議	その他	合計
2,257	2,694	60	230	65	212	5,518

(2) 生活相談センター

- ① 自立支援プラン8人、策定件数12件（新規・再プラン含）
- ② 住居確保給付金事業 41人、相談件数延べ 539件
- ③ 就労支援事業 103人、支援件数延べ 250件
- ④ 家計相談支援事業 延べ37人
- ⑤ フードバンク事業
 - ア. 食品受領 6, 655. 45kg
 - イ. 食品提供（フードバンク、フードパントリー） 延べ839人
 - ウ. 食支援連携会議 5回参加
 - エ. 食支援事業説明 2回
- ⑥ その他（地域ケア会議、担当者会議、学習支援会議） 15回

(3) 後見ネットワークセンター

- ① 企画運営会議 6回、利用促進調整会議 7回
- ② 成年後見制度の普及啓発
 - ア. 専門職研修 1回 33人参加
 - イ. 親族後見人向け交流会 4人参加
 - ウ. 出前講座 2回（民生委員・児童委員協議会障がい者福祉部会、スマイル志木）
 - エ. センター便り 3回発行
- ③ 市民後見人の活動支援
 - ア. フォローアップ研修 3回 延べ38人参加
 - イ. 市民後見人の集い 3回 21人参加
 - ウ. 市民後見人活動支援 3人 47回
- ④ その他（豊島区視察、地域ケア会議等） 4回

(4) 障がい者基幹相談支援センター

- ① 地域の相談支援体制の強化
 - ア. 専門職研修 1回
 - イ. 障がい者等相談支援事業所への巡回訪問 7事業所 14回
 - ウ. 相談支援事業者に対する人材の育成、スキル向上 7回
 - エ. 関係機関・福祉事業者との連携強化 42回
- ② 地域移行・地域定着支援の取組 会議3回 対象32人（移行11人、定着21人）
- ③ 障がい者虐待防止と障がい理解促進
 - ア. 障がい者虐待防止研修 1回 34人参加
 - イ. 障がい者虐待の通報及び届け出受理 4件
 - ウ. 障がい理解促進と障がい者差別禁止啓発 1回
 - エ. 障がい差別の通報及び届け出受理 0件
- ④ 自立支援協議会の運営 8回（代表者会議、全体会、ビジョン部会、暮らし部会）

(5) 会議・研修

- ① 外部研修 43件 59人参加
- ② その他関係会議 24件 28人参加

5 居宅介護支援事業

(長寿えがお課)

1 事業の概要

介護保険制度における指定居宅介護支援事業所として、高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくために、要支援や要介護認定を受けた人のケアプランを作成し、関係各所との連携強化を図りながら、利用者の自立した在宅生活を支援した。

2 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	26,718,698	職員人件費
事務費支出	3,651,937	事務管理費
ファイナンス・リース債務支出	747,144	介護保険システム
支出合計	31,117,779	

3 重点施策への取り組み

コロナ禍の影響による身体・認知機能の低下を防ぐため、医療機関や施設などが面会制限の中、電話や文書などで頻回に連絡を取る工夫を行い、情報収集及び共有を図り、適切なサービスに繋げ、効果的な支援を展開した。あわせて、成年後見制度の利用が早急に必要であるなど、困難ケースを積極的に受け入れた。また、介護保険制度との併用で就労支援が必要な利用者のケアプラン作成を行い、基幹福祉相談センターやハローワークと連携を図りつつ、継続した支援を行った。

その他、利用者の災害時避難対応確認として、志木市避難行動要支援者名簿登録の案内や申し込みの提案、具体的な避難方法を利用者と一緒に確認するなど、利用者の避難についての意識づけを行った。

4 主要な施策の成果

(1) 居宅介護支援

① 職員体制 (令和5年3月末)

介護支援専門員	人数
常勤職員	6人
短時間勤務職員	1人

② ケアプラン数

種別	延べ作成件数
介護計画	1,947件
介護予防計画	413件

③ サービス担当者会議 259回

主な会議内容	回数 (回)
認定更新結果後のサービス	92
現在のサービス見直し	69

初回サービス担当者会議（新規利用者）	74
退院後の在宅復帰	15
区分変更後のサービス調整	9

④ 介護予防サービス担当者会議 27回

主な会議内容	回数（回）
認定更新結果後のサービス	10
初回サービス担当者会議（新規）	5
現在のサービス見直し（変更・追加）	11
その他	1

⑤ 相談件数 81件（うちケアプラン作成件数60件）

(2) 認定調査 54件（志木市38件、他市16件）

(3) 会議・研修

- ① 外部研修（更新研修、認定調査研修等） 32件 延べ35人参加
- ② 地域ケア会議 11回 延べ11人参加
- ③ 自立支援型地域ケア会議 1回 1人参加
- ④ 居宅介護支援事業所会議 12回 延べ95人出席
- ⑤ 市内居宅介護支援事業所事勉強会（志木ケアマネスクエア） 6回 延べ14人参加
- ⑥ 事例検討会 7回 延べ45人参加
- ⑦ 内部研修 5回 延べ11人参加
- ⑧ 包括ケアマネ支援勉強会 7回 延べ10人参加
- ⑨ 志木市集団指導 1回 2人参加

6 相談支援事業

(長寿えがお課)

1 事業の概要

障がい者やその家族、関係機関が抱える福祉課題の相談に応じ、課題解決に向けての話し合いや、福祉サービス及び社会資源などの情報提供や調整などに取り組んだ。

2 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	8,736,726	職員人件費
事務費支出	523,384	事務管理費
繰入金支出	489,174	法人運営へ
支出合計	9,749,284	

3 重点施策への取り組み

高齢の親と障がいがある子の世帯、多問題を抱える世帯など、総合的な支援を必要とするケースが増えているなか、福祉・教育・医療などの様々な関係機関と連携を図り、役割分担をしながら支援を実施した。

自立支援協議会や相談支援事業所連絡会に参加し、志木市の障がい福祉サービスの現状や不足する社会資源について協議を行った。

4 主要な施策の成果

(1) 相談支援事業

障がい者や障がい児、難病がある人などが必要な障がい福祉サービスをスムーズに受けられるよう、サービス等利用計画を作成した。また、障害福祉サービス以外にも、地域の社会資源の活用を心掛け、経済的問題や権利擁護においては、基幹福祉相談センターと連携を取り、専門的な支援を受けられるよう支援を行った。

① 障がい者等相談支援事業

ア. 相談件数 322件 (件)

電話	来所	訪問	同行	関係機関	個別会議	メール他
140	14	44	4	95	20	5

イ. 障がい別相談件数 (複数相談あり) 337件 (件)

身体	知的	精神	発達	高次脳機能	難病	その他
58	68	198	0	4	7	2

② 計画相談支援

ア. 契約件数 132件 (件)

新規契約	契約終了	延べ契約
18	6	132

イ. 障がい別契約件数 145件 (件)

身体障がい	知的障がい	精神障がい	重複障がい
26	70	36	13

③ 認定調査 10件 (令和4年5月まで)

(2) 会議・研修

① 会議・研修 12件 15人参加

② 自立支援協議会 3回

③ 連絡調整会議 12回

7 訪問介護事業

(長寿えがお課)

1 事業の概要

指定訪問介護事業、指定居宅サービス事業及び市からの受託事業として、移動支援事業・育児サポート事業などさまざまな制度に基づき、訪問介護員が居宅を訪問し、身体介助や家事援助などのサービスを提供することにより、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、在宅生活を支援した。

2 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	73,913,700	職員人件費
事務費支出	5,801,654	事務管理費
ファイナンス・リース債務支出	747,144	介護保険システム
繰入金支出	1,208,711	法人運営へ
支出合計	81,671,209	

3 重点施策への取り組み

サービス提供責任者は、積極的にWEB研修を利用し、研修で学んだ知識を登録ヘルパーに伝え、現場での適切なサービス提供に繋げた。また、登録ヘルパーの定期的な会議・研修についても感染症対策を講じて実施した。

障がい者虐待防止委員会においては、「身体拘束等の適正化のための指針」を定め、虐待防止チェックリストを活用することにより、虐待防止について理解を深めた。

4 主要な施策の成果

(1) 訪問介護

① 職員体制 (令和5年3月末)

職員種別	人数 (人)
サービス提供責任者 (常勤)	4
サービス提供責任者 (短時間)	2
事務職 (短時間)	1
登録ヘルパー	31

② 活動時間、利用者数

区分	活動時間 (時間)	訪問回数 (回)	延べ利用者数 (人)
訪問介護	10,333	11,361	1,146
第1号訪問事業	3,325	4,122	782
居宅サービス事業	5,036	4,518	526
移動支援事業	800	997	143
育児サポート事業	18	18	6
自費契約	0	0	0
合計	19,512	21,016	2,603

(2) 研修・会議

- ① 登録ヘルパー全体研修 年7回 延べ280人出席
- ② 登録ヘルパー全体会議 年2回 延べ77人出席
- ③ 外部研修（WEB研修） 16回 延べ26人参加
- ④ サービス提供責任者会議 12回 延べ74人出席
- ⑤ ケース検討会 8回
- ⑥ 地域ケアエリア会議 5回 延べ5人出席

(3) サービス担当者会議 196回

主な会議内容	回数 (回)
① 身体及び生活環境の変化による業務の見直しと今後の対応について	38
② 要介護認定更新に伴うサービス内容の確認について	70
③ 生活状況及びサービス内容の確認について	29
④ 退院後の在宅復帰に向けて	9
⑤ 新規訪問でのサービス提供内容について	50
⑥ その他(ケアマネジャー交代等)	0

(4) 講師派遣

志木市役所「福祉体験研修（車いす及び視覚障害者への介助）」2日間
サービス提供責任者2人派遣

8 地域包括支援センター

(長寿えがお課)

1 事業の概要

柏町及び館・幸町地区の高齢者が住み慣れた地域で安心して生活が続けられるように、相談を受け、高齢者を見守り、心身の状態に併せた支援を行った。また、「地域包括ケア」の中核機関として、必要な総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援、介護予防ケアマネジメントなどを市からの委託を受けて実施した。

2 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	68,528,766	職員人件費
事業費支出	3,587,743	市受託事業、自主事業
事務費支出	7,553,985	事務管理費
繰入金支出	7,289,974	法人運営へ
支出合計	86,960,468	

【志木市高齢者あんしん相談センター柏の杜】

3 重点施策への取り組み

生活支援体制整備事業については、2層協議体を開催し、参加者同士のつながりが増えたことで、団体間の横のつながりや住民同士の交流が増えた。また、柏町内のイベントで小学生や中学生と交流する機会が増え、志木中学校生徒会と意見交換から若い世代の意見を聞く機会を持つことができた。

個別支援については、複数の課題を抱えている人の支援が増え、多職種での地域ケアエリア会議を開催し、介護支援専門員の後方支援を行った。また、住民や民生委員、関係団体等と連携し、支援が必要な人の早期発見、早期介入を目指して支援を行った。

柏町内で活動している介護予防を目的とする団体を定期的に訪問し、ミニ講座を開催するなど、顔の見える関係づくりを行った。

認知症施策については、「認知症にやさしい柏町」を目指し、ボランティア団体の協力のもと、認知症カフェや特別講座を開催した。

4 主要な施策の成果

(1) 総合相談支援業務

① 総合相談受付件数 4,877件 (実人数466人) (件)

電話相談	来所相談	訪問相談	文書	合計
3,166	440	1,253	18	4,877

② 実態把握業務

業務内容	主な内容	件数 (件)
高齢者世帯実態把握二次調査	郵送調査による包括の訪問希望者・未返信者	80

③ 地域におけるネットワークの構築

分類	主な内容	回数 (件)
会議・打合せ	民生委員会議、施設会議などへの参加・打合せ	37

活動支援	サロン活動、ボランティア団体会議への参加など	33
出前講座	熱中症予防、認知症サポーター養成講座など	47
出張相談	なんでも相談会	1

(2) 権利擁護業務

① 相談

相談内容	件数 (件)	実人数 (人)
権利擁護・成年後見人制度関連	23	6
虐待関連	6	4

② 啓発講座

講座内容	回数 (回)	参加者 (人)
交通安全、消費生活アドバイス	16	165

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント

分類	主な内容	回数・件数
相談支援	介護支援専門員・サービス事業者への相談支援	923件
会議・研修	介護支援専門員を支援するための会議・研修	7回
地域ケア会議	エリア会議開催、自立支援型地域ケア会議参加	15回
在宅医療・介護連携	在宅医療・介護連携会議などへの参加	8回
生活支援体制整備	2層協議体・打合せ・会議・サロン支援など	64回
一般介護予防事業	訪問型・通所型サービス等の調整	62件

(4) 介護予防支援事業所

主な内容		回数・件数
給付管理	介護予防支援 延べ1,035件 介護予防ケアマネジメント 延べ278件	延べ1,313件
介護予防サービス計画サービス担当者会議の開催		146回
要介護認定申請書などの申請を代行		157件

(5) 市受託事業

① 元気づくり事業

事業名	主な内容	回数 (回)	参加者 (人)
自立支援教室	体操&太極拳	22	361
	自宅で取り組む毎日チャレンジ	12	367

② 認知症施策推進事業

事業名	主な内容	回数 (回)	参加者 (人)
認知症カフェ	1か所の茶話会・和光病院院長講話	11	164
認知症SOS声かけ模擬訓練	市内包括合同SOS声かけ訓練	1	28

(6) 会議・研修

① 職員外部研修 32件 延べ45人参加

② その他関係会議 46回

【志木市高齢者あんしん相談センター館・幸町】

3 重点施策への取り組み

生活支援体制整備事業については、保育園の園児との交流会を行い、多世代交流の促進を図った。また、「防災から地域のつながりを考える」をテーマにフォーラムを開催した。

総合相談支援の強化として、館地区での出張相談の場を設け、行政書士と連携し、相続や遺言、成年後見制度に関する専門相談を行った。

高齢者を支えるネットワークづくりとして、弁護士や民生委員などと連携し、地域ケアエリア会議を開催し、協働を継続することで、多問題ケースの解決や地域課題の発見に至り、介護支援専門員の支援にも繋がった。

また、老後のワンポイント講座として「終活セミナー」を実施した。

消費者被害防止の啓発として、朝霞警察署と連携し、消費者被害防止の講座の開催、館地区への注意喚起のための個別訪問、老人会やサロン、体操事業などでのチラシ配布、ミニ講座を行った。

民生委員、管理組合、近隣住民からの情報収集や市の事業、高齢者サロンへの訪問により、コロナ禍により活動の制限や自粛が続くなかで生じている高齢者の生活ニーズや介護リスクの高い要介護者の実態把握に努めた。

4 主要な施策の成果

(1) 総合相談支援業務

① 総合相談受付件数 6, 477件 (実人数488人) (件)

電話相談	来所相談	訪問相談	文書	合計
4, 084	395	1, 652	346	6, 477

② 実態把握業務

業務内容	主な内容	件数 (件)
高齢者世帯実態把握二次調査	民生委員調査後の二次調査	39

③ 地域におけるネットワークの構築

分類	主な内容	回数 (回)
会議・打合せ	民生委員会議、施設会議などへの参加・打合せ	4
活動支援	老人会、サロン、ボランティア活動支援・協力	25
出前講座	サロン、町内会の講座など	7
出張相談	館出張相談所、なんでも相談会	18

(2) 権利擁護業務

① 相談

相談内容	件数 (件)	実人数 (人)
権利擁護・成年後見人制度関連	52	13
虐待関連	29	12
認知症関連	86	44

② 啓発

講座内容	回数 (回)	参加者 (人)
交通安全、消費生活アドバイス講座	17	213
詐欺被害防止個別訪問	7	7

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、介護予防ケアマネジメント

分類	主な内容	回数・件数
相談支援	介護支援専門員・サービス事業者への相談支援	1,724件
会議・研修	介護支援専門員を支援するための会議・研修	13回
地域ケア会議	地域ケアエリア会議開催	20回
	自立支援型地域ケア会議参加	10回
認知症総合支援	認知症地域支援推進員会議	8回
	認知症初期集中支援チーム	5回
在宅医療・介護連携	在宅医療・介護連携会議への参加、受診支援	33回
生活支援体制整備	打合せ・会議・サロン支援、フォーラムなど	11回
多世代交流	保育園とサロンとの交流、保育園の見学・交流	3回
一般介護予防事業	百歳体操立ち上げ・活動支援、体操会	21回

(4) 介護予防支援事業所

主な内容		回数・件数
給付管理	介護予防支援 延べ1,228件	延べ1,891件
	介護予防ケアマネジメント 延べ663件	
介護予防サービス計画サービス担当者会議の開催		96回
要介護認定申請書などの申請を代行		267件

(5) 市受託事業

① 元気づくり事業

内容	主な内容	回数 (回)	参加者 (人)
自立支援教室	青空体操・ウォーキング・脳活性化ゲーム	16	148

② 認知症施策推進事業

事業名	主な内容	回数 (回)	参加者 (人)
認知症カフェ	1か所の茶話会・講演会	6	109
サポーター養成講座	小学校や地域団体へ認知症の理解講座	1	145
声かけ模擬訓練	フォローアップ講座、声かけ模擬訓練	1	25

(6) 会議・研修

① 職員外部研修 25回 延べ37人参加

② その他関係会議 48回

9 志木市総合福祉センター

(ふれあい交流課)

1 事業の概要

住み良い地域社会の形成と福祉の増進を図るため、子どもから障がい者、高齢者までさまざまな利用者が安心して利用できる地域福祉拠点施設の運営を行うとともに、複合施設な利点を活かし、関係機関や団体と連携した事業を実施した。(指定管理者)

2 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	20,016,740	職員人件費
事業費支出	242,469	自主事業
事務費支出	27,587,197	事務管理費
繰入金支出	1,268,369	法人運営へ
支出合計	49,114,775	

3 重点施策への取り組み

日頃から広報紙やホームページ等で市内の情報を収集して職員間で共有し、適切な利用者対応を行った。また、土日祝日は社協内事業所の一部の業務を引き継ぎ、市民サービスの向上を図った。

事業においては、総合福祉センター利用団体等で組織する総合福祉センターまつり実行委員会を立ち上げ、感染症対策や開催規模を協議し、新型コロナウイルスが流行した以降はじめてとなる第10回総合福祉センターまつりを開催した。

施設利用においては、令和3年度に実施したインターネット環境の整備に加え、無線ルーターの無料貸し出しを開始するなど施設利用の促進及び利便性向上を図った。利用定員等の条件緩和にも順次取り組んだことから、昨年度と比較し利用回数が1,925件から2,002件へ、利用人数が23,405人から30,887人と大幅に増やすことができた。

4 主要な施策の成果

(1) 施設利用状況

開館日数 355日

施設名	利用回数(回)	利用人数(人)
ホール	626	20,557
201会議室	359	3,414
202会議室	386	3,449
203会議室	631	3,467
合計	2,002	30,887

<臨時休館>

6月19日、9月4日、10月16日、2月12日の4日間(電気点検、館内清掃のため)

(2) 感染症対策等の施設管理

① 施設利用の条件・ルールの変更

市の新型コロナウイルス感染症対策本部会議の決定を基に、感染状況に応じた利用条件を変更し、感染リスクの減少に努めた。施設利用者には、利用条件の変更を行った際は新しい利用条件を周知し、感染症対策の協力をお願いした。

② 感染症対策

館内のこまめな換気を行い、ロビー、トイレ等の共有スペースについては1日4回以上、部屋は利用した都度、職員によるアルコール消毒と利用備品の片付けを実施した。また、令和3年度から進めている水道の自動水栓への更新をさらに進めた。

③ 節電対策

光熱水費が高騰する中で、利用者への影響が無い範囲で照明の間引き点灯や館内事業所への呼びかけ、こまめなエアコン設定等で節電を図った。

(3) 事業実施状況

事業名	共催者等	実施日	参加人数
総合福祉センター まつり	総合福祉センターまつり実行委員会、 社協共催	3月4日～3月5日	937人
普通救命講習会	宗岡第二公民館共催	10月27日	17人
映画会（児童向け）	宗岡第二公民館、児童センター、宗岡 子育て支援センター共催	5月29日、3月28日	90人

地域ふれあい交流事業、サマーコンサートは中止

(4) 防火管理・安全対策・職員研修

火災、地震、水害、事件・事故などの危機に明確かつ迅速に対応できるよう、危機管理マニュアルを作成し、職員及び関係者へ周知し、火災を想定した消防訓練を消防署立ち合いのもと実施した。また、接遇の向上を目的とした研修に参加した。

① 消防訓練 年2回実施（9月26日、2月27日）

② 普通救命講習会・接遇研修・障がい理解講座 3件 延べ9人参加

(5) 印刷機貸出及びコピーサービス

地域福祉を推進する団体などに、印刷機、大判コピー機の貸出及びコピーサービスを実施した。

コピー	モノクロ	5,321枚	
	カラー	389枚	
大判コピー	12件	26枚	
印刷機	101件	49,715枚	

(6) 利用者アンケート

利用者カードによりアンケートを実施し、利用者の声を尊重した施設運営を進め、意見・要望を参考に快適な施設提供を行った。（集計数671件）

10 宗岡第二公民館

(ふれあい交流課)

1 事業の概要

住民への教養の向上をはじめ、健康を増進し、生活文化の振興、社会福祉の増進を図るため、利用者の誰もが安心して利用できるように施設の運営を行うとともに、関係機関や団体と連携して各種事業を実施した。(指定管理者)

2 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	14,917,750	職員人件費
事業費支出	2,946,232	公民館事業、図書室事業
事務費支出	9,699,444	事務管理費
繰入金支出	650,389	法人運営へ
支出合計	28,213,815	

3 重点施策への取り組み

よみかかせのボランティア団体を立ち上げたほか、高校生への講座講師依頼や講師活動を行ったことがない人に講座運営に協力いただくなどして、地域に貢献できる人材の育成を行った。また、図書室においては学生のボランティアによる本のポップの作成と図書室利用者が他の利用者におススメの本を紹介できる「どくしょのき」の設置等を行い、環境整備に努めた。

施設利用においては、利用後の消毒・片付けを引き続き職員が行い、プロジェクターの更新やルーターの無料貸し出しを開始するなど利便性の向上を図り、昨年度と比較し利用回数が2,922回から3,400回へ、利用人数が26,881人から37,789人と大幅に増やすことができた。

4 主要な施策の成果

(1) 施設利用状況

開館日数 355日 全10室 3,400回 37,789人利用

施設名	利用回数 (回)	利用人数(人)	施設名	利用回数 (回)	利用人数(人)
401会議室	452	6,487	406会議室	305	3,425
402会議室	334	6,645	和室	192	981
403会議室	217	1,317	調理室	156	1,646
404会議室	351	2,887	トレーニング室	725	8,039
405会議室	329	3,966	美術工芸室	339	2,396
			合計	3,400	37,789

<臨時休館>

6月19日、9月4日、10月16日、2月12日の4日間(電気点検、館内清掃のため)

(2) 事業実施状況

① 自主事業 26事業 137回 参加者2,866人

実施した事業は、受付での検温と手指消毒、休憩時間などの換気、会場を大きい部屋に変更、複数回にして少人数にするなどの感染症対策を行った。

分類(事業数)	事業名	回数(回)	参加者(人)
高齢者事業(1事業)	寿大学	19	611
ICT学習支援事業(2事業)	スマホのい・ろ・は教室 志木市スマホ体験教室	5	91
一般成人事業(5事業)	男女共同参画推進事業、パーソナルカラー講座、普通救命講習会等	7	100
家庭教育・子育て支援事業(7事業)	夏休みお天気教室、キッズチャレンジ「油絵体験」、旬を食べよう料理教室等	20	269
青少年事業(1事業)	中学生の勉強会	33	292
学校連携事業(1事業)	子ども陶芸教室	4	100
図書室関連事業(5事業)	はじめてのよみきかせ講座、えほんとなかよし、昭和を楽しむ映画会等	24	306
地域福祉事業(3事業)	パステルアート教室、みんなの木あそび教室、写真教室	24	160
館内共催事業(1事業)	総合福祉センターまつり	1	937

(休止した事業：図書室関連事業(2事業)、地域連携事業(1事業)、館内共催事業(2事業))

② 陶芸用電気炉利用状況

延べ26回(素焼き11回、本焼き15回)

③ 図書室運営 開館日数336日

返却資料の拭き取り消毒、閲覧席の制限など感染症対策を徹底し、開室した。

ア. 利用者数

(人)

児童	青少年	一般	団体等	合計
2,148	292	8,545	138	11,123

イ. 貸出資料数・リクエスト受付数

	児童書	一般書	雑誌	AV資料	合計
貸出資料数(点)	17,975	12,780	2,263	3,519	36,537
リクエスト受付数(件)	650	3,578	743	224	5,195

④ ボランティア協力

ボランティア団体「えほんとなかよし」を立ち上げ、9月から未就学児を対象に図書室内でよみきかせを開始した。また、前年度ボランティアの協力により作成したよみきかせ動画を図書室内やリサイクル図書無料配布会で上映した。

(3) 防火管理・災害対策・職員研修

総合福祉センター危機管理マニュアルに基づき、総合福祉センター内の各施設と連携し、消防訓練を2回実施した。また、利用者サービスの充実に必要な研修として、公民館職員関係職員専門研修会、障がい理解講座、接遇研修、普通救命講習会等に延べ16人参加した。

(4) 利用者アンケート

利用者カードによりアンケートを実施し、利用者の声を尊重した施設運営を進め、意見・要望を参考に快適な施設提供を行った。(集計数2,176件)

11 志木市福祉センター

(ふれあい交流課)

1 事業の概要

高齢者が健康で明るい生活を送ることができるよう、介護予防の推進事業やレクリエーションの実施など、各種事業を展開するとともに、高齢者の憩いの場として、安心、快適に過ごせるよう施設運営を行った。また、志木市老人クラブ連合会の事務局として老人クラブ活動の支援を行った。(指定管理者)

2 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	11,150,785	職員人件費
事業費支出	3,126,373	自主事業
事務費支出	5,219,629	事務管理費
繰入金支出	406,884	法人運営へ
支出合計	19,903,671	

3 重点施策への取り組み

感染症の流行状況を考慮し、感染症予防対策を徐々に緩和しながら、高齢者の身体機能維持や仲間との交流の場の提供として、事業を中止することなく展開し、教室数や定員数を増やすなど利用の拡大を図った。また、カラオケは、マイク消毒機材の導入や換気などの感染症対策を徹底して、サークル活動による利用を再開し、活動の場を提供するなどの支援を行った。

4 主要な施策の成果

(1) 利用状況

開館日数 355日 (人)

市内利用者	市外利用者	合計
16,556	140	16,696

<臨時休館>

6月19日、9月4日、10月16日、2月12日の4日間 (電気点検、館内清掃のため)

(2) 教室事業

教室名	回数 (回)	参加者数 (人)	実施期間
健康レクリエーション①	10	108	5月～3月
健康レクリエーション②	10	129	5月～3月
健康体操①	9	113	5月～3月 (12月休み)
健康体操②	10	146	5月～3月
3B体操	10	141	5月～3月
太極拳①	10	102	5月～3月
太極拳②	10	104	5月～3月
フォークダンス	10	148	5月～3月
大人のぬり絵	10	157	5月～3月

大人のぬり絵（自習）	10	131	5月～3月
書道	10	265	5月～3月
民謡	10	180	5月～3月
11教室（自習を含む）	119	1,724	（8月休み）

(3) 介護予防事業

事業名	回数	参加者数（人）	実施期間
朝の5分間体操	毎日	—	随時
エンジョイ筋トレ	月1回	138	4月～3月
お気軽ころばん塾	週3回	1,618	4月～3月
カッピー体操	週1回	630	4月～3月
スマイル体操	週1回	637	4月～3月
歌声サロン	週1回	592	6月～3月
健康講座	奇数月1回	41	5, 11, 1, 3月
脳体操（脳活性化ゲーム）	15回	165	5月～9月、11月～3月
楽々筋トレ塾	毎日	997	4月～3月
輪投げ・マグダーツ練習会	週1回	341	4月～3月
リフレッシュ椅子ヨガ	月2回	284	4月～3月
麻雀	毎日	2,332	4月～3月
楽しいフラメンコ	全4回	41	6, 8, 11, 3月
能力アップコロナフレイル予防	全1回	9	4月
14事業		7,825	

(4) イベント事業

総合福祉センターまつりの一環として、高齢者作品展示会の展示期間を3月20日まで延長し、福祉センター2階ロビーにて実施した。

なお、高齢者芸能大会は、感染症の感染状況を考慮して、中止した。

(5) 感染症対策

日常的な感染症対策としては、検温と消毒を同時にできる非接触型の機材を受付に設置して入館時の混雑を回避し、バーコード利用券による入退館記録、マスク着用、加湿機付空気清浄機及び扇風機の設置、定期的な換気と人の触れる機会の多い場所の消毒、利用後の部屋や備品の消毒を毎日実施した。飲食は黙食でお願いした。

(6) 志木市老人クラブ連合会事務局活動

志木市老人クラブ連合会事務局及び各単位老人クラブに関する事務を実施し、日常活動や事業の連絡調整、準備、決算、記録、会計研修などの諸活動の支援を行った。

事業は、友愛訪問活動をはじめ、輪投げ大会、マグダーツ大会、日帰り旅行、市民文化祭芸能発表及び高齢者作品展示会などについて、感染症対策を講じながら実施した。

(7) 防火管理

総合福祉センター危機管理マニュアルに基づき、総合福祉センター内の各施設と連携し、館内のすべての機関が参加する消防訓練に年2回参加した。

(8) 研修

内部研修 1件 1人参加

12 志木市第二福祉センター

(ふれあい交流課)

1 事業の概要

高齢者が健康で明るい生活を送ることができるよう、介護予防の推進事業やレクリエーションの実施など、各種事業を展開するとともに、高齢者の憩いの場として、安心、快適に過ごせるよう施設運営を行った。また、隣接する市営城山住宅に居住するひとり暮らし高齢者の定期的な安否確認を行った。(指定管理者)

2 支出決算額

勘定科目	決算額(円)	説明
人件費支出	13,695,501	職員人件費
事業費支出	1,894,667	自主事業
事務費支出	20,829,953	事務管理費
繰入金支出	287,013	法人運営へ
支出合計	36,707,134	

3 重点施策への取り組み

教室事業及び介護予防事業は、高齢者の身体機能の低下や社会的孤立を防止するため市内公共施設の利用基準を慎重に検討したうえで、講師などと調整し、会場を広い部屋に変更するなどして、感染症対策を徹底しながら実施した。

また、浴室施設を安心・安全に利用いただくため、事前予約制により浴室に入ることができる人数を制限して運営を行った。

4 主要な施策の成果

(1) 利用状況

開館日数 355日 (人)

市内利用者	市外利用者	合計
23,373	123	23,496

<臨時休館>

6月12日、11月23日、12月11日、2月12日の4日間(定期清掃、受水槽清掃、電気工事のため)

(2) 浴室利用 ※予約制 1日44人以内(男性5人×4回 女性6人×4回)

利用日数287日 (人)

男性	女性	合計
5,363	6,617	11,980

(3) 教室事業

教室名	回数(回)	参加者数(人)	実施期間
大人のぬり絵教室	10	86	5月～3月

健康体操教室	10	131	5月～3月
3B体操教室	10	138	5月～3月
シニアダンス教室	10	133	5月～3月
書道教室	10	169	5月～3月
太極拳教室	10	136	5月～3月
認知症予防ゲーム教室	10	189	5月～3月
志木史教室	10	94	5月～3月
リズム体操教室	10	132	5月～3月
9教室	90	1,208	(8月休み)

(4) 介護予防事業

事業名	回数	参加者数(人)	実施期間
朝の5分間体操	毎日	—	随時
エンジョイ筋トレ	月1回	81	5月～3月
お気軽ころばん塾	週3回	1,541	4月～3月
カッピー体操	週1回	421	4月～3月
楽々筋トレ塾(初回講習を含む)	毎日	1,813	4月～3月
5事業		3,856	

(5) イベント事業

サークル発表会、カーレット大会、パフォーマンスなどは中止した。

(6) 感染症対策

日常的な感染症対策としては、検温と消毒を同時にできる非接触型の機材を受付に設置して入館時の混雑を回避し、バーコード利用券による入退館記録、マスク着用、飲食禁止、接触機会軽減など利用者の協力をお願いし、各部屋の定員制限、加湿機付空気清浄機及び扇風機の設置、定期的な換気と人の触れる機会の多い場所の消毒、利用後の部屋や備品の消毒を毎日実施した。飲食は黙食でお願いした。

(7) 隣接住宅の見守り安全確認

隣接する市営城山住宅に居住するひとり暮らしの高齢者に対し、定期的な安否確認を実施した。

(8) 防火管理

安心して施設を利用していただくため、消防訓練を年2回実施した。また、避難所開設・運営の打合せに参加し、指定避難所の運営を円滑に行うための確認を行った。

(9) 研修

外部研修 1件 1人参加 内部研修 2件 2人参加

13 障がい者通所施設（生活介護）

（ふれあい交流課）

1 事業の概要

障害者総合支援法に基づき、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、利用者の意向、適性、障がいの特性その他事情を踏まえた個別支援計画を作成し、利用者に障がい福祉サービスを実施した。

2 支出決算額

勘定科目	決算額（円）	説明
人件費支出	33,789,629	職員人件費
事業費支出	259,813	自主事業
事務費支出	4,547,265	事務管理費
就労支援支出	295,291	利用者工賃、材料費
事業税支出	21,000	作業収入に関わる消費税
支出合計	38,912,998	

3 重点施策への取り組み

保護者等にも協力を得て、感染症対策を行いながら事業を実施してきたが、10月に陽性者が複数発生してしまったため、3日間休所した。また、その前後などにも一定期間通所を控えるなどがあったことから、部屋のレイアウト替えや換気の徹底など管理の見直しを行い、再発防止に努めた。

強度行動障がいやてんかん等に関する外部研修に積極的に参加し、それらの研修で得た知識や技術を支援の場面に取り入れることで、拒否が強かった一部の利用者も活動に参加する機会を増やすなど、支援を改善していくことができた。

身体を動かす機会の提供としては、施設周辺の散歩や毎週行うリハビリ体操についてもプログラムを増やし、他にも新たなレクリエーションとしてボッチャの時間を設けるなど、楽しく運動することに力を入れ取り組むことができた。

また、コロナ禍の影響を受けて中止していた外部販売活動を、規制の緩和に合わせて再開し、缶回収とあわせて地域の方々や保護者との交流を図ることができた。

4 主要な施策の成果

(1) 新規契約者数

- ① 新規契約 1人（10代男性）
- ② 契約終了 0人

(2) 利用登録者数（3月31日現在） 平均利用者数 17.2人／日

	利用登録者数	延べ利用者数
つくしんぼ	23人	4,185人

(3) 平均工賃（一人あたり）

	月額(円)	活動内容
つくしんぼ	1, 178	自主製品販売、アルミ缶回収、内職作業

(4) つくしんぼの活動

- ① 販売活動 8回
- ② 健診と余暇活動など

	活動内容	回数(回)
健診	内科検診	1 2
	歯科検診	2
余暇活動など	大正琴	2 4
	音楽療法	6
	市内他団体との交流会	1
	外出行事	—
	スポーツ・レクリエーション	4 2
	絵画教室	1 2
	リハビリ体操	4 8

(5) 関連業務

- ① 実習体験生の受け入れ

所属など	人数	日数
所沢おおぞら特別支援学校	3人	15日

- ② 避難訓練

避難確保計画に基づく垂直避難訓練（10月3日実施）1回 18人参加 職員7人
総合福祉センター実施避難訓練 2回 延べ利用者4人、職員2人参加

- ③ 会議・研修等

分類	つくしんぼ		管理（所長、サビ管）	
外部研修	4件	7人	5件	6人
内部研修	4件	23人	4件	6人
職員会議	12回		12回	

14 障がい者通所施設（就労継続支援B型）

（ふれあい交流課）

1 事業の概要

障害者総合支援法に基づき、利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、また、継続的な就労活動ができるよう、利用者の意向、適性、障がいの特性、その他事情を踏まえた個別支援計画を作成し、利用者に障がい福祉サービスを実施した。

2 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	40,066,360	職員人件費
事業費支出	1,516,665	自主事業
事務費支出	3,659,784	事務管理費
就労支援支出	12,107,272	利用者工賃、材料費
事業税支出	943,000	作業収入に関わる消費税
支出合計	58,293,081	

3 重点施策への取り組み

保護者等にも協力を得て、感染症対策を行いながら事業を実施してきたが、陽性者の発生により一定期間通所を控えるなどがあったことから、部屋のレイアウト替えや換気の徹底など管理の見直しを行い、拡大防止に努めた。

また、市内施設への販売活動の再開や新しく市役所トイレの清掃を請け負うなど、一定の請負業務を確保し、利用者への就労訓練の機会を提供することができた結果、就労支援事業収入が昨年度に比べ約150万円増額することができ、利用者一人ひとりの平均工賃月額も昨年度より2,755円アップの17,813円とすることができた。

4 主要な施策の成果

(1) 新規契約・契約終了者数

- ① 新規契約 5人（50代男性1人、10代女性1人、20代女性1人、50代女性1人、60代女性1人）
- ② 契約終了 2人（40代男性→他事業所へ、10代女性→通所中止）

(2) 利用登録者数（3月31日現在） 平均利用者数 24.7人/日

	利用登録者数	延べ利用者数
クローバー	20人	3,718人
ひまわり	9人	1,023人
東館	10人	1,275人

(3) 平均工賃（一人あたり）

	月額(円)	活動内容
クローバー	17,889	清掃及び除草、御香炉灰、缶バッチ製造など
ひまわり	23,027	食堂運営
東館	13,198	焼き菓子製造、学童おやつ提供
平均工賃	17,813	

(4) クローバーの活動

クローバーでは、灰・線香の作業や分別作業、缶バッチ製造等の内職作業、公園や施設トイレの清掃作業を行った。令和4年度は新たに、志木市役所のトイレ清掃を市内の他事業所と共同で請け負い、また、内職作業としてミシンを使った油処理袋の縫製作業を請け負うことで、利用者の訓練の機会拡大と収入アップを図った。

さらに、地域活動の一環として市内クリーンボランティアも継続して実施した。

① 就労支援活動

就労場所	活動内容	延べ活動者数	売り上げ(円)
市役所・市内公園	清掃及び除草	215人	318,400
施設内作業	内職(御香炉灰など)	3,722人	2,938,412
	缶バッチ製造	25人	443,700

② 余暇活動 1回(買い物イベント)

(5) ひまわり・東館の活動

食堂を運営するひまわりでは、食洗器を入れ替え、作業の効率化、衛生面の向上を図った。コロナ禍対策で始めた持ち帰り商品も定着し、利用者の作業能力も向上してきている。制限緩和に伴い、徐々に来客数も増え、食堂のお客様との交流も生まれた。

東館では、販路先を拡大し売り上げを増やす取り組みを強化した他、料理研究家の指導のもと新商品(宗岡産精米を使った米パン)を手掛け、利用者の能力向上と売り上げ向上につなげることができた。

ひまわりと東館では、上記活動に加え、宗岡地区の4学童へ週3日おやつを提供を継続的に実施するなど、食を通して地域との交流を持ち、障がい理解の一役を担った。

主な活動内容	活動日数	延べ来客数・提供数	売り上げ(円)
食堂運営	210日	9,445人	5,457,620
学童おやつ提供	144日	20,598人	2,363,620
クッキー等焼菓子製造	238日	—	1,953,674

(6) 関連業務

① 実習体験生の受け入れ

所属など	クローバー		ひまわり		東館	
	人数	日数	人数	日数	人数	日数
通所希望者	2人	5日	—	—	3人	9日
所沢おおぞら特別支援学校	6人	22日	—	—	3人	11日

② 避難訓練

避難確保計画に基づく避難訓練(10月3日実施)

回数	クローバー	ひまわり	東館	就労B職員
1回	16人	4人	4人	9人

総合福祉センター実施避難訓練

回数	クローバー	ひまわり	東館	就労B職員
2回	30人	3人	9人	17人

③ 会議・研修等

分類	クローバー		ひまわり		東館	
外部研修	3件	5人	2件	2人	3件	3人
内部研修	4件	16人	4件	7人	4件	12人
職員会議	12回	—	12回	—	12回	—

15 地域活動支援センター

(ふれあい交流課)

1 事業の概要

障がい者等の意思及び人格を尊重し、地域において自立した生活を営むことができるよう、障がい者等の声をもとにした創造的活動及び生産活動の機会の提供並びに社会との交流を図る事業を実施した。

2 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	4,395,169	職員人件費
事業費支出	4,572,506	機能回復訓練、教室事業
事務費支出	1,727,425	事務管理費
支出合計	10,695,100	

3 重点施策への取り組み

新型コロナウイルスの感染予防対策を講じながら、各種事業を安全に実施した。

木あそびは「おとこの木あそび」から「みんなの木あそび」に名前を変えたことにより、女性2人が新規加入した。教室事業の活動発表の場である総合福祉センターまつりでは、利用者の製作品や活動風景の写真を展示して、新しい利用者の拡大推進に努めた。

機能回復訓練事業では、コロナ禍以前から協力いただいていた理学療法士と作業療法士の継続が難しくなったことから、新たに理学療法士と作業療法士を確保した。

青年学級は感染状況を見ながら実施内容を検討し、9月までは半日の活動、11月からは感染対策を徹底している店で昼食を摂り、1日の活動にするなどの工夫をした。

4 主要な施策の成果

(1) 地域活動支援センターの管理運営

① 障がい者団体及びボランティア団体への活動場所の提供

団体利用 6団体82回、延べ837人

② 職員研修 4回、延べ6人

(2) 自主事業及び受託事業の実施

① 教室事業（創作活動）

教室名	回数	参加者
生花教室	11回	57人
陶芸教室	12回	81人
料理教室	11回	138人
体操教室	12回	80人
みんなの木あそび	12回	90人
パステルアート教室	12回	46人

写真教室	4回	24人
7教室	74回	516人

② サークル活動

サークル名	回数	参加者数
ペンギンクラブ	21回	133人
PCC六星	22回	75人
ぴあの	21回	102人
りらくすルーム	2回	2人
4サークル	66回	312人

③ 親と子の生活訓練（介護の指導方法）

9回、延べ45人

④ 青年学級（社会適応訓練）

6回、延べ144人

実施日	主な内容	参加者数
5月21日(土)	金魚釣りと工作	23人
7月10日(日)	ボウリング大会	29人
9月17日(土)	卓球大会	25人
11月27日(日)	川越七福神ウオークラリー	25人
1月28日(土)	葛西臨海水族園見学	21人
3月19日(日)	彩の国ビジュアルプラザ見学	21人
6回		144人

⑤ 機能回復訓練事業

	実施回数	参加者数
月曜日	48回	264人
金曜日	48回	225人
週2回	96回	489人

⑥ 送迎サービス 63回、延べ102人

教室名	回数	利用者数
生花教室	10回	17人
陶芸教室	12回	12人
料理教室	11回	16人
体操教室	22回	49人
みんなの木あそび	7回	7人
写真教室	1回	1人
6教室	63回	102人

16 志木市児童センター

(こども未来課)

1 事業の概要

児童に健全な遊びを提供して、その健康を増進し、情操を豊かにする児童福祉法に基づく目的を達成するため、各種事業を実施するとともに、施設の適切な維持管理に努め、利用者が安心して安全に利用できる施設運営を行った。(指定管理者)

2 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	19,373,863	職員人件費
事業費支出	245,910	自主事業
事務費支出	2,174,218	建物管理費
固定資産取得支出	157,520	固定資産取得支出
支出合計	21,951,511	

3 重点施策への取り組み

感染症対策を講じながら、様々な経験・体験活動として「かがくあそび」や「クッキング」など児童のニーズに応じた事業を実施し、児童健全育成の場と機会を提供した。

また、宗岡子育て支援センター・宗岡地区放課後志木っ子タイムをはじめとする本会事業所との連携・協力による共催事業を実施し、市民サービスの向上を図った。

毎月の通信発行や事業ポスターを各公共施設に設置したほか、公式LINEを活用し、情報提供を即時的に行った。また、夏休み前に小学生向けの号外通信を市内小学校全児童に配布し、センターのPR活動を積極的に行うことで、利用の促進を図った。

4 主要な施策の成果

(1) 利用状況

開館日数 355日

(人)

個人利用者	団体利用者※	その他利用者	事業参加者	合計
12,759	163	88	9,605	22,615
13,010				

※宗岡子育て支援センターの事業参加者及び宗岡第四小学校の施設見学者を団体利用者とした。

(2) 事業実施状況

① 未就学児・保護者対象事業

主な内容	事業数	参加者 (人)
なかよしランド、児セビクス、オンライン広場など	6	1,856

② 小学生以上対象事業

主な内容	事業数	参加者 (人)
かがくあそび、クッキング、チャレンジタブレットなど	26	7, 149

③ 地域育成事業

主な内容	事業数	参加者 (人)
こども1Dayスペシャル!!、総合福祉センターまつりなど	4	295

※こども1Dayスペシャル!! 84人参加

ミニゲームや特別工作（プラバン）、ハメパチキーホルダー作りを実施し、地域交流の場を提供した。

※しきっこあつまれ！市長といっしょに〇×クイズ大会 67人参加

市長を招き〇×クイズ大会を実施し、地域に開けたセンターのPRに努めた。

④ 相談事業

主な内容	事業数	相談件数 (件)
子育て相談、こども相談	2	305

※保護者や利用児童の生活環境などにおける諸問題の早期発見や発生予防に努め、相談に応じた。

(3) 児童センター運営委員会

1回 9人出席

(4) モニタリング調査

利用者のニーズを把握し、事業運営に生かした。 回答者数 100人

(5) 感染症対策

入館時の手洗い、検温、利用者のマスク着用、連絡先情報の確認、利用人数及び時間の制限を行った。また、未就学児の親子は事前予約制としたほか、玩具は使用ごとに消毒を実施した。

事業は感染症対策を講じた上で実施した。また、流行状況に応じて市外在住者の利用などの緩和を行った。

(6) 緊急時対策

① 職員訓練（地震や火災を想定した災害時の保護者への連絡、ケガの場合の救急車による病院搬送など、その場に応じた適切な緊急時対応訓練）

毎月1回 12回実施

② ミニミニ避難訓練（利用者とともに、地震や火災、不審者侵入を想定）

4回実施 延べ25人

(7) 職員研修

① 外部研修 3件 延べ4人参加

② 内部研修 2件 延べ17人参加

17 宗岡子育て支援センター

(こども未来課)

1 事業の概要

子育て家庭の保護者、乳幼児などに対する支援を行うため、子育て親子の交流の場の提供と交流促進を中心とした事業を展開するほか、子育てに関する相談・援助を実施し、児童福祉法に基づく地域子育て支援拠点として、利用者が安心して安全に利用できる施設運営を行った。(指定管理者)

2 支出決算額

勘定科目	決算額 (円)	説明
人件費支出	11,623,942	職員人件費
事業費支出	180,573	自主事業
事務費支出	1,613,938	事務管理費
支出合計	13,418,453	

3 重点施策への取り組み

孤立した育児にならないよう、親子で多様な活動を楽しみながら地域交流を図り、リフレッシュを兼ねた保護者同士の交流事業などの種々の事業を実施した。また、父子対象の交流事業を実施し、来所しやすい環境作りや交流の場の提供など育児参加を促進した。

4 主要な施策の成果

(1) 利用状況

開館日数 355日

(人)

あそびの広場		子育て支援事業・ 相談事業など	合 計
子ども	保護者		
3,009	2,480	4,508	9,997

(2) 事業実施状況

① あそびの広場

主な内容	回数 (回)	参加者 (人)
自由遊びや交流の場の提供 (対面)	309	5,407
手あそび、歌あそび等の配信 (オンライン)	24	82

② 子育て親子交流事業

主な内容	事業数	参加者 (人)
身体測定、対象別広場、誕生日手形など	8	1,651

③ 子育て支援事業

主な内容	事業数	参加者 (人)
親子講座、児セビクス、子育てサークル支援など	14	2,049

④ 相談事業

ア. 子育て相談 278件

(件)

	睡眠	食事	排泄	発育	発達障がい	育児一般	ストレス虐待	保健	家庭地域	合計
児童	11	27	13	5	19	127	—	24	22	248
大人	—	—	—	—	—	—	17	6	7	30

イ. 専門相談 30回 78件

事業名	回数(回)	相談件数(件)	事業名	回数(回)	相談件数(件)
小児科医師相談	4	9	まんま相談	11	25
歯の健康相談	2	2	出張健康相談	2	5
栄養相談	2	10	巡回発達相談	3	12
おっばい相談	6	15			

⑤ 地域育成事業 6事業 320人

「こども1Dayスペシャル!!」や、「しきっこあつまれ!市長といっしょに〇×クイズ大会」など、地域の親子が集い楽しめる事業を児童センター等と協働し実施した。

⑥ 見学者及び赤ちゃんの駅利用者など 132人

(3) モニタリング調査

利用者のニーズを把握し、事業運営に活かした。 回答者数70人

(4) 感染症対策

入館時の手洗い、検温、利用者のマスク着用、連絡先情報の確認、利用人数及び時間の制限を行い事前予約制とした。使用した玩具の消毒など、感染症対策を講じながら事業を実施した。また、流行状況に応じて市外在住者の利用などの緩和を行った。

(5) 緊急時対策

① 職員訓練(地震や火災を想定した保護者への連絡、ケガの場合の救急車による病院搬送など、その場に応じた適切な緊急時対応訓練)

毎月1回 12回実施

② ミニミニ避難訓練(利用者とともに、地震や火災、不審者侵入を想定)

4回実施 延べ25人

(6) 職員研修

① 外部研修 6件 延べ6人参加

② 内部研修 2件 延べ8人参加

18 放課後子ども教室・学童保育クラブ

(こども未来課)

1 事業の概要

宗岡地区4小学校の全児童を対象に、安心・安全に過ごすことができる放課後の居場所として、学校内や学童保育専用施設で学習を支援したほか、遊び、スポーツ、文化活動などを体験し、交流をする「放課後志木っ子タイム事業（全児童を対象とする「放課後子ども教室」と就労家庭などの児童を対象とする「学童保育クラブ」を一体的に運営する事業）」を実施した。

2 支出決算額

勘定科目	決算額(円)	説明
人件費支出	97,271,859	職員人件費
事業費支出	16,312,132	自主事業
事務費支出	19,200,945	事務管理費
支出合計	132,784,936	

3 重点施策への取り組み

- ① 地域の「市民先生」（プログラム講師）と協働して体験プログラム及びオンライン交流会を実施し、児童の好奇心を満たす新しい企画に取り組んだ。また、地域のイベントに参加し、地域住民との交流・活性化に貢献し、宗岡地区放課後志木っ子タイムの活動をPRした。
- ② 保護者専用アプリの機能を活用し、入退室管理のほか、通信の配信、放課後子ども教室のWEB利用申込みを実施し、保護者の利便性をさらに高めた。
- ③ 学習につまずきやすい3・4年生（希望者）を対象にした放課後学習教室において、教員経験を有する講師の専門性に基づく教材研究と指導により、ICT教材（タブレット端末）を併用して自主学習に意欲的に取り組むことができた。

4 主要な施策の成果

(1) 利用状況

学童保育クラブは通常開所。放課後子ども教室は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策による一部利用制限を設けた開所となった。

	放課後子ども教室		学童保育クラブ		
	開室日数(日)	利用人数(人)	開所日数(日)	利用人数(人)	閉所日数(理由)
むねおか	242	4,849	290	6,635	1日(新型コロナウイルス感染症による休校) 1日(運動会のため土曜保育希望なし)
むねに	243	3,491	292	3,851	
むねさん	243	3,896	291	6,184	1日(学校公開のため土曜保育希望なし)
むねよん	243	8,010	292	7,436	
合計		20,246		24,106	

(2) 事業実施状況

① 放課後子ども教室体験プログラム

主な内容	回数(回)	人数(人)
市民先生による体験活動の提供	80	991
市民先生とのZ o o mを活用した交流会	1	19
市民団体との交流活動	77	3, 119
外部団体による社会教育事業の提供	4	122

② 自主学習促進事業

主な内容	回数(回)	人数(人)
学習支援	83	3, 043
放課後学習教室	108	1, 994

③ 地域交流事業

主な内容	回数(回)	人数(人)
新庁舎等完成記念イベント「水辺で輪踊り」	1	36
市内高校生との交流事業	1	26

※志木さくらフェスタは雨天のため中止。

④ 保護者説明会

主な内容	回数(回)	人数(人)
令和5年度学童保育クラブ入所説明会・面接	1	100

※夏休み説明会は資料配布のみとした。

⑤ 運営委員会

主な内容	回数(回)	人数(人)
適切な運営と事業活性化のための意見交換	4	16

⑥ こども未来課共催事業

主な内容	回数(回)	人数(人)
ミニ移動児童センター	6	205

(3) 緊急時対策

- ① 感染予防策を徹底しながら、防災・防犯訓練を学期ごとに実施した。また、施設備え付けのAEDで定期的にシミュレーションを行った。
- ② 新型コロナウイルス感染拡大防止策
手洗い、消毒、検温、マスク着用、喫食時の黙食などを徹底した。

(4) 職員研修

- ① 放課後児童支援員認定資格研修 2件 4人参加
- ② 外部研修 13件 延べ87人参加
- ③ 内部研修 7件 延べ152人参加
- ④ 宗岡地区小学校福祉体験授業
アイマスク体験 4校 12人参加
車椅子体験 4校 10人参加